

## 県内の患者数

矢印は、前週の数に対して ↑ 増加 ↓ 減少 → 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↑ 123	49	百日咳	→ 1	2
RSウイルス感染症	↓ 31	36	ヘルパンギーナ	→ 2	1
咽頭結膜熱	↑ 17	9	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	→ 59	59
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↓ 45	60	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 582	728	流行性角結膜炎 (はやり目)	↓ 12	22
水痘	↓ 67	86	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 3	0	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↓ 1	4	マイコプラズマ肺炎	→ 6	6
突発性発しん	↓ 20	34	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い  
感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ インフルエンザ
- ☀ 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 582 件(前週報告数 728 件)と減少。  
地区別では、山鹿、八代、菊池に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の 117 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- インフルエンザは、報告数 123 件(前週報告数 49 件)と増加。  
地区別では、八代、山鹿、人吉に多く報告がみられる。  
年齢別では、30代の 15 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 67 件(前週報告数 86 件)と減少。  
地区別では、菊池、山鹿、有明、宇城に多く報告がみられる。  
年齢別では、2歳及び3歳の 12 件を最多に主に7歳以下からの報告である。

## ◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所	38	8	8	21	172	20	2	1	9	0	0	22		11				2
山鹿保健所	6	0	0	0	60	6	0	0	0	0	0	0	*	*				
菊池保健所	7	0	1	7	67	14	0	0	3	0	0	12		1				
阿蘇保健所	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	2	1	0	0	15	3	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	30	9	0	4	84	1	0	0	1	0	0	3						
水俣保健所	0	1	0	0	7	0	0	0	1	0	0	9	*	*				
人吉保健所	9	1	7	3	43	3	1	0	3	0	0	0	*	*				3
有明保健所	6	0	1	2	59	10	0	0	1	0	0	7						1
宇城保健所	9	10	0	3	35	6	0	0	1	0	0	3						
天草保健所	11	1	0	5	38	4	0	0	1	1	2	3						
計	123	31	17	45	582	67	3	1	20	1	2	59	0	12	0	0	6	0

## ◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆


インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	123		1	5	4	5	9	10	10	6	3	5	17	3	10	15	8	6	4	1	1	
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	31	8	16	6	1																	
咽頭結膜熱	17		1	3		2	3	1		3	1		3									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45			1	3	1	6	6	2	6	2	8	8	1	1							
感染性胃腸炎	582	7	35	117	61	49	46	36	34	32	16	16	50	10	73							
水痘	67		6	11	12	12	9	10	4	2		1										
手足口病	3				2	1																
伝染性紅斑	1	1																				
突発性発しん	20	1	8	10	1																	
百日咳	1				1																	
ヘルパンギーナ	2						2															
流行性耳下腺炎	59		1	7	4	4	6	16	8	1	3	4	3		2							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	12												1			1	3	2	2	3		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	6		2	2	2																	
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎：山鹿・菊池・八代

流行性耳下腺炎：水俣

インフルエンザ



今週のインフルエンザの報告数は、123件で、流行開始の目安を越え流行入りしました。地域別では、御船、水俣、有明以外の地域が特に多いです。インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。インフルエンザを予防するために、①流行時には人混みを避ける②手洗い・うがいを習慣づける③栄養、休養、睡眠を十分に取る④部屋の換気と保湿に心がけるなどの対策をしましょう。もし、インフルエンザにかかってしまった場合は、学校や職場へは無理して行かず、早めに医療機関を受診し治療を受けましょう。また、周りの人へうつさないために、咳エチケットを心がけ、外出を控えるようにしましょう。特に、年始は人が集まる機会が多くなるので、体調管理をしっかり行いましょう。

